パサージュ67A
世の中の役に立つ材料
黒子　弘道・三方　裕司・大背戸　豊・山本　健太郎・庄司　淳（工学部）

大背戸　豊

1）講座のテーマは？
　身の回りには様々なユニークな機能を発揮する材料があり、人々の日々の暮らしの役に立ち、社会の発展を物質面から支えています。これらの材料がなぜ役に立っているのか？新しく役に立つ材料をつくるにはどうすればよいのか？これらの問いかけに答えるための研究を、見て、知って、考えることで、「材料」の世界へ誘います。

2）講座における学びの特徴は？
　材料は、様々な有機化合物、高分子化合物、あるいは無機化合物から成り立っています。これらを原子や分子のレベルから設計して合成し、機能や物性を評価し、将来の応用へとつなげる研究活動を行っている教員が、最新のトピックを交えて、材料づくり・ものづくりを分かりやすく紹介することで、材料の本質を学びます。

3）受講生に期待することは？
　身の回りの役に立つ材料は、全て原子や分子からできています。しかし、原子や分子はあまりに小さすぎて、人の目では見ることができません。本パサージュを聴講することで、人の目では見えないものを化学の知識や知恵で想像して理解することが、材料をつくる上で重要であることを学んでいただきたいです。